

授業科目

解剖学

担当教員名 澤田 純明	対象学年	1	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

授業の概要

骨系、筋系、神経系、感覚器系、循環器系、内臓系（消化器系、呼吸器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系）について、それぞれを構成する器官の形態と構造を学習する。本講義は後期の解剖学実習と強く関連しており、これらの講義・実習における授業内容を会得することで、人体の基本構造を総合的に理解できるように設計されている。

授業の目的

人体を構成する各器官の位置と形態を系統別に理解し、視能訓練士に必要とされる解剖学基礎知識を修得することを目的とする。

学習目標

1. 骨の構造や発生について総論的に学習し、骨格全体の成り立ちを把握するとともに、頭蓋・脊柱・胸郭・四肢骨の特徴について理解する。
2. 骨格筋の一般的な構造と機能および神経支配を理解する。
3. 脳と脊髄の構造を理解し、脳神経・脊髄神経の基本構成を総論的に把握する。また、自律神経系について理解する。
4. 特殊感覚器の構造を、その感覚機能と関連づけて理解する。特に視覚器については十分な知識を修得する。
5. 心臓・動脈・静脈・リンパ系の諸器官について、形態的特徴と構造、全身の分布、他の器官系との関連を理解する。
6. 消化管（口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸）と消化腺（唾液腺、肝臓、膵臓）の形態と構造を理解する。
7. 気道を構成する鼻腔・咽頭・喉頭・気管・気管支と、ガス交換に関与する肺の構造を理解する。
8. 内分泌系の各器官の位置と名称、および分泌されるホルモンの種類と作用を理解する。
9. 腎臓および尿路の形態と構造を理解する。
10. 生殖に関わる器官の構造と構成を理解する。
11. 発生の諸段階を理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	解剖学総論	講義	澤田 純明
2	骨系	講義	澤田 純明
3	筋系	講義	澤田 純明
4	神経系1	講義	澤田 純明
5	神経系2	講義	澤田 純明
6	感覚器系1（視覚器）	講義	澤田 純明
7	感覚器系2（その他の特殊感覚器）	講義	澤田 純明
8	循環器系1	講義	澤田 純明
9	循環器系2	講義	澤田 純明
10	消化器系	講義	澤田 純明
11	呼吸器系	講義	澤田 純明
12	内分泌系	講義	澤田 純明
13	泌尿器系・男性生殖器系	講義	澤田 純明
14	女性生殖器系・発生	講義	澤田 純明
15	まとめの講義	講義	澤田 純明

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	入門人体解剖学 改訂第5版	藤田 恒夫	南江堂	2012年	5,000円＋税	
	カラー人体解剖学	F.H.マティーニ他著、井上 貴央 監訳	西村書店			

参考書	イラスト解剖学 第8版	松村 譲児	中外医学社		
その他の資料	授業プリントを配布				

評価方法

期末試験（100点満点）により成績を評価する。

履修上の留意点

予習と復習が重要となる。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー

月曜12：00～14：00、火・水・木曜12：10～13：10

連絡先

澤田純明 研究室 GA401 メール junmei-sawada@nuhw.ac.jp